

議会だより ましこ

令和2年
9月定例会

No. 150



「かさましこ」日本遺産に認定なる
日本遺産構成文化財の一部を紹介

9月定例会審議結果 2 ~ 4

一般質問 5 ~ 9

7月臨時会審議結果 4

常任委員会活動 10~11

町政に関するご意見 5

町民の声 12

9月定例会 長期欠席の議員に対する報酬減額について 条例を一部改正

令和2年第11回定例会は、9月3日から14日までの12日間の会期で開かれました。令和元年度一般会計・特別会計の決算認定のほか、補正予算6件、条例3件、人事2件、意見書1件を審議し、原案どおり可決したほか、報告1件、陳情審査報告1件がありました。

町政に対する一般質問では、8名の議員が登壇しました。

令和元年度会計別決算

会計区分		歳入総額	支出総額	差引残高
一般会計		89億 816.2万円	85億 6,361.0万円	3億 4,455.2万円
特別会計	国 民 健 康 保 険	27億 4,170.3万円	26億 9,286.8万円	4,883.5万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億 914.6万円	2億 849.5万円	65.1万円
	介 護 保 険	15億 5,663.6万円	15億 1,482.3万円	4,181.3万円
	公 共 下 水 道 事 業	4億 9,617.9万円	4億 9,261.3万円	356.6万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	1億 804.7万円	1億 472.0万円	332.7万円
合 計		140億 1,987.3万円	135億 7,712.9万円	4億 4,274.4万円

【一般会計の主な目的別歳出】

- [民 生 費] 32億 8,576万円（福祉バス購入 3,415万円、認定こども園整備事業費補助金 1億 8,632万円、保育園整備事業費補助金 7,202万円、子育て応援手当 4,429万円 他）
- [教 育 費] 10億 9,335万円（小中学校空調設備設置工事 2億 7,563万円、中央公民館空調改修工事 3,171万円 給食センターボイラー更新工事 2,321万円 他）
- [農林水産費] 7億 457万円（加工施設建設工事 1億 1,473万円、加工施設厨房設備整備業務 2,270万円 他）
- [衛 生 費] 5億 245万円（芳賀地区広域行政事務組合負担金（ごみ処理、し尿処理）1億 2,838万円 他）
- [土 木 費] 4億 4,091万円（地籍調査測量業務 4,565万円、町道改良工事 6,475万円 他）
- [商 工 費] 2億 8,601万円（海外プロモーション事業 509万円、ブランドイメージ構築業務 400万円 他）

- ① 実質赤字比率
一般会計の実質赤字の割合
- ② 連結赤字比率
全ての会計を合わせた時の実質赤字の割合
- ③ 実質公債費比率
一般会計のうち借入金返済額等の割合の3か年平均値
- ④ 将来負担比率
一般会計で、将来負担すべき実質的負担の割合
(1)(2)公営企業に係る会計ごとの資金不足の割合

1. 健全化判断比率

指標名	決算に係る比率	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	14.95%
②連結実質赤字比率	—	19.95%
③実質公債費比率	6.9%	25.0%
④将来負担比率	49.9%	350.0%

○令和元年度健全化判断比率
及び資金不足比率
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により監査委員の意見をつけて次とおり報告されました。

2. 資金不足比率

公営企業会計名	決算に係る比率	経営健全化基準
(1) 公共下水道事業 特別会計	—	20.0%
(2) 農業集落排水事業 特別会計	—	20.0%

一般会計・全会計連結とも実質赤字は生じておらず、企業会計でも資金不足は生じていない。実質公債比率は6.9%、健全化基準を下回っている。
監査委員
指摘すべき事項は特にない。

報告

決算の認定

(全員賛成)

令和元年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算について
代表監査委員から決算審査報告があり、その後9月8日から14日にかけて本会議場で集中審議を行いました。

◇決算審査報告書（抜粋）

代表監査委員 大槻 征夫
監査委員 廣田 茂十郎
審査にあたっては、7月31日に現地調査を行い、8月3日から11日まで延べ7日間に亘り実施しました。
審査は、決算の計数が正確であるか、予算の執行は議決の趣旨にのつとり適正かつ効果的に施行されているか、関係諸帳簿及び証拠書類を照合して関係者の説明を聴取して審査を実施しました。
令和元年度歳入歳出決算については関係法令に基づいて作成されており、正確なものと認め、予算の執行、収入支出事務及び財産に関する事務についても概ね適正に処理されていると認めました。

令和2年度 9月補正予算

令和2年度9月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	9月補正予算額	合計
一般会計	105億 909.2万円	2億 9,390.1万円	108億 299.3万円
特別会計	国民健康保険	27億 6,444.5万円	27億 6,941.1万円
	後期高齢者医療	2億 1,900.0万円	2億 1,964.9万円
	介護保険	16億 170.9万円	16億 4,364.3万円
	公共下水道事業	5億 2,166.5万円	5億 3,181.1万円
	農業集落排水事業	9,804.1万円	1億 127.6万円
合計	157億 1,395.2万円	3億 5,483.1万円	160億 6,878.3万円

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・サイクリング拠点施設整備事業（自転車購入含む）(5,588万円) ・サーマルカメラ購入（188万円）
- ・インフルエンザ予防接種助成（1,664万円） ・工業団地造成予定地不動産鑑定業務（213万円）
- ・学校保健特別対策事業費（809万円） ・Web陶器市実行委員会交付金（180万円）

議員発議

長期欠席の議員に対し報酬を減額

地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を国に提出

条例

益子町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

（全員賛成）
議会の会議等を長期に欠席した場合の議員報酬及び期末手当の減額するための改正で、議員報酬は、引き続き90日を超えて会議等に出席しないときは100分の80を、引き続き180日を超えて会議等に出席しないときは100分の70を、引き続き365日を超えて会議等に出席しないときは100分の50を乗じて得た額とし、また、期末手当についても基準日以前6か月以内の期間において報酬の減額支給された月があるときは、欠席期間に応じて報酬と同じ支給割合を乗じて得た額とするものです。

意見書

（全員賛成）
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活への不安が続いている。このような状況の中で、地方税・地方交付税の大幅な減少等により、地方公共団体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されることから、内閣総理大臣、財務大臣等、国関係機関に対し、意見書を提出しました。

条
例

● 益子町国民健康保険税条例
の一部改正

(全員賛成)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の国民健康保険税の減免申請の期限を国の財政支援の基準に合わせ令和3年3月31日までとし、遡及適用を可能とするための改正です。



● 益子町介護保険条例の一部
改正

(全員賛成)

国民健康保険税同様、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者等の介護保険料の減免申請の期限を国の財政支援の基準に合わせ令和3年3月31日までとし、遡及適用を可能とするための改正です。

● 益子町教育委員会委員の任命の同意

(全員賛成)

令和2年9月30日付けをもつて任期が満了する、益子町大字塙 森田聰子氏の後任人事で、任命に同意しました。

人
事

◇ 審議結果【不採択】

(全員賛成)

● 陳情
（令和2年陳情第1号）
日本政府及び国会に対し、「日本地位協定の抜本的見直しを求める」よう意見書提出を要請する陳情

令和2年度 9月補正予算

令和2年度7月補正予算は全員賛成により可決しました。

会計区分	補正前の額	7月補正予算額	合計
一般会計	104億 836万円	1億 73万円	105億 909万円

【一般会計補正予算の主な内容】

- ・ポイントカード協議会交付金 5,518万円・かさましこ日本遺産活性化協議会負担金 1,541万円
- ・新型コロナウイルス感染予防備蓄消耗品等 1,247万円・第三セクター鉄道支援事業費 929万円

契
約

● GIGAスクール4小学校
パソコン機器売買契約

(全員賛成)

△ 日興通信株式会社
が落札し、「6千26万円
22号

△ 宇都宮市大通り一丁目4番
22号

△ GIGAスクール3中学校
パソコン機器売買契約
5者による指名競争入札の
結果、
△ 宇都宮市大通り一丁目4番
22号
△ GIGAスクール3中学校
パソコン機器売買契約
5者による指名競争入札の
結果、
△ 宇都宮市大通り一丁目4番
22号
△ GIGAスクール3中学校
パソコン機器売買契約
が落札し、「3千272万
2千800円」の契約につ
いて議決しました。



7月臨時会（第10回）

小中学生に1人1台タブレット端末を整備

令和2年第10回臨時会が7月30日に開かれ、契約2件を審議可決しました。

◇ GIGAスクール4小学校 パソコン機器売買契約 (全員賛成)	△ 日興通信株式会社 が落札し、「3千272万 2千800円」の契約につ いて議決しました。
----------------------------------------	---------------------------------------------------------

「町政に関するご意見」ありがとうございました

議会だより第149号で意見を募集したところ、4名の方からご意見をいただきました。
広報広聴常任委員会で審査した結果については次のとおりです。



- 図書館について、そのあり方などもう少し慎重に討論したほうがいいのでは。
- 適正な理由づけ・議論を経た上で建設か否か判断したほうがいいのでは。
⇒図書館建設につきましては、今まで全員協議会、教育厚生常任委員会で審議しているところでありま
すが改めて担当である教育厚生常任委員会に付託いたしました。
- 議員の皆様には住民の代表として住民と町を結び、そうした機会を実現いただきたい。
- 議員の方々と意見交換会をしてみたい。
- 町政の事業計画の進歩状況を町民に説明し、町民の声を聞き、意見交換会を行い、その内容を町の執行部
や担当各課へ届ける機会は年に2回の議会報告会だけでは少なすぎる。議会としての開催時には総合的な
テーマで意見交換を行うとして、そのほか月ごとにテーマを決めて議員有志の方での開催を希望する。
⇒年2回の議会報告会、意見交換会に加え、所定の条件を満たした団体には出前の意見交換会も行ってお
ります。今後はテーマを決めての意見交換会も検討しております。
- 町職員がいつも忙しそうである。職員が過労・疲弊に喘ぐ状況を作らないよう注視し、事業進捗を見守っ
てほしい。
⇒職員の労務管理につきましては、監査並び一般質問、総括質疑等で常に指摘しておりますが、より一層
注視して参ります。
- 町行財政の長期計画を分かりやすくしてほしい。
⇒以前から指摘しておりますが、引き続き分かりやすい内容の公開を求めていきます。

一般質問 8名の議員が登壇！

高橋 家光 議員 6ページ

- ①図書館建設について
- ②農業の進むべき姿について
- ③GIGAスクールタブレット端末購入
について

諸田 秀之 議員 6ページ

- ①GIGAスクール構想について
- ②電柱問題の取り組みについて

日渡 守 議員 7ページ

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大
に伴う対応について
- ②地方創生・益子創生を実現させるため
の方策について
- ③複合型図書館の建設について

岩崎 秀樹 議員 7ページ

- ①町政運営について
- ②財政運営について

大内 千嘉夫 議員 8ページ

- ①国土強靭化地域計画について
- ②学校教育の管理について

直井 陸 議員 8ページ

- ①次期総合計画策定について

小野澤 則子 議員 9ページ

- ①災害時の避難所の設営と運営について
- ②GIGAスクール構想について

加藤 芳男 議員 9ページ

- ①幼稚園、保育園、小中学校の新型コロ
ナ対策について
- ②介護者支援について
- ③IT化時代における町の対応について

町ホームページで会議録の閲覧もできます！



高橋 家光 議員

図書館建設について

質問 図書館基本構想委員会の報告を、今後の事業推進にどう活かしていくのか。

町長

報告書は未来に寄与する知見の高い「未来を育む知の広場」という思いを受け止めてまいります。

質問

建設予定地として、求められる条件は何か。

生涯学習課長 生活導線の集まる所、駐車スペース、防災性、経済性（財政負担小）等を考えております。

質問 建設に対し賛否様々なご意見が有り、後世にツケが残るのではないかと心配の声もあります。必要性・意義について説明し合意形成が必要です。最終判断はどの時点か。

生涯学習課長 皆様の合意形成を得た時点で、次の基本計画に進みます。

質問 実現可能な施設規模について伺います。

生涯学習課長 図書館協会基準では考慮して決定したい。

質問 厳しい財政の中、単体事業

では補助金が受けられないと聞いています。補助を受ける方法は有るのか。

副町長 地域課題解決として一体整備する場合「社会整備総合交付金」の交付対象となります。

質問 補助金、交付金はどの程度受けられるのか、地方債発行をどの位と試算するのか。

総務部長 国庫補助対象の場合は半分が国庫補助残り半分の内9割を起債（借入）として起こせます。

質問 ランニングコストの年間試算は。

生涯学習課長 近隣の図書館では4千～8千万円となつておきます。

質問 コストを抑えるには、益子に無い医療機関等の併設をはかり家賃収入をコストと相殺する事は有効な手段となります。町民の利便性にも寄与する事から提案します。

町長 耳鼻科、眼科の誘致は町民共有の課題と思つてしまふ検討します。図書館は町の魅力づくりと共に未来に対する投資として必要とされます。

質問 建設に対する賛否など意見が有り、後世にツケが残るのではないかと心配の声もあります。必要性・意義について説明し合意形成が必要です。最終判断はどの時点か。

生涯学習課長 皆様の合意形成を得た時点で、次の基本計画に進みます。

質問 実現可能な施設規模について伺います。

生涯学習課長 図書館協会基準では考慮して決定したい。



諸田 秀之 議員

GIGAスクール構想について

質問 生徒一人置き去りにしない公平で最適な学びとはどのように進められるのか。また、子供たちの健康障害が大変心配されます。スマホを含むICT機器の常習化は、前頭葉障害との指摘があります。精神面での活動意欲の低下からルールや専門のソーシャルワーカーも必要ではないかと思います。次にセキュリティーやアカウントの管理、ICTアドバイザリーの確保は大丈夫なのか。また通信費、破損、盗難等についての負担はどうなっているのか、お伺いします。

教育長 子供一人一人への支援ができるようきめ細かな指導を行い学びを保障して参ります。次にICTの活用による子供たちの健康障害への心配について学校では毎時間で使うい箇所への設置を電線管理者へ要請、関係地権者の協力を頂き安全安心の確保へ努めて参ります。無電柱化の必要性は十分認識しているところであります。なお文部科学省発行児童生徒の健康に留意して活用するガイドブックを参考に指導を行つて参ります。

町長 現在の電柱の状況につきましては道路整備された当時から町内の道路上に散見されます。危険のない箇所への設置を電線管理者へ要請、関係地権者の協力を頂き安全安心の確保へ努めて参ります。無電柱化の必要性は十分認識しているところであります。

管理についてセキュリティ性能と管理のしやすさを実現している機種となつております。緊急時ににおけるオンライン学習に係る通信料や利用者の過失による機器の破損につきましては、ご家庭の負担をお願いしたいと考えております。なお、学校での通常使用時における端末の破損については町負担で修理致します。

質問 電柱問題の取り組みについて

質問 町内を見ますと狭隘道路で歩行者、自転車に関しては自動車を避けることで接する危険性が高まるなど電柱が交通安全上の障害になつてゐる状況で御座います。災害などに対する交通障害また倒壊、倒木などによつて道を塞ぎ緊急車両などの妨げが考えられ生活に支障を与えるかもしれません。安全で円滑な通行空間の確保や良好な景観形成など電柱の移動や無電柱化が必要と考えますが町長のお考えをお伺いします。

町長 現在の電柱の状況につきましては道路整備された当時から町内の道路上に散見されます。危険のない箇所への設置を電線管理者へ要請、関係地権者の協力を頂き安全安心の確保へ努めて参ります。無電柱化の必要性は十分認識しているところであります。



日渡 守 議員

新型コロナウイルス感染症の 感染拡大に伴う対応について

質問

各種給付金の申請及び交付の状況はどうなっているか。

町長

全町民に10万円を給付する特別定額給付金は、対象世帯877世帯・対象者2万2725人で、交付実績は8750世帯、2万2695人の申請で、給付率については99.9%になっています。期間中、自主的に休業要請に応じられた事業者の協力金10万円の交付状況については、飲食業・宿泊業・陶器販売関連業など合計186件の申請があり、そのうち180件の交付決定をし、全て交付済みです。後者が9件の申請を受け付けており、交付決定について随時進めています。

地方創生・益子創生を実現 させるための方策について

質問

首都圏からの人口流入を見据えたまちづくりを積極的に推進すべきと考えるが、どう考えているか。

町長

益子町の人口減少の問題については、新ましこ未来計画の中で最も重要な課題として位置づけて人口の社会動態及び年間出生数をKPIに設定し、様々な取組を行っています。町では、平成30年5月に益子町移住・定住推進計画を策定し、近隣地域の事業所に勤務する子育て世代を第一のターゲットとし、U-Jターン希望の若者を第2のターゲットとして、全庁挙げて様々な施策に取り組んでいます。

課題解決型をテーマとする複合型 図書館の建設について

質問

今後の事業スケジュールはどうなっているのか。

町長

今後の予定は、今年度図書館基本計画策定委員会を組織し、令和3年度にかけて基本計画を策定していく。4年度に基本計画を作成し、5年度には実施設計を作成します。6年度より工事を開始し、7年度の開館を目指していきます。

新業態開拓等支援補助金は、新サービス支援補助金（上限額20万円）と新業態開拓支援補助金（上限額100万円）の2種類あり、前者が16件・

後者が9件の申請を受け付けており、交付決定について随時進めています。



岩崎 秀樹 議員

町政運営について

質問

コロナ禍、コロナ後を鑑み、図書館基本構想の再構築の必要性を感じるが。

町長

基本構想は検討委員会の知見の詰まつたもの。7月の講師の岡本氏からもお褒めの言葉を頂いた。

構想の再検討は考えていない。しかし社会状況も変化しているので、今後の基本計画策定の中で検討して参る。

コロナ禍で、『新常态』と言われる構造的な変化が避けられない状況となっているが、どうお考えか。

町長

こういう状況だから我々も新たな未来への答えを生み出して行きたい。

岡本氏のレポートに賛わいとか交流を生む図書館はコロナ後には対応できないとある。ステージが変わっているのだから基本構想も新しいものにと思うが。

岡本氏のお考えも色々あると思う。まずは、自分たちの考え方固めた上で岡本氏のアドバイスを頂くのが順番と考える。

時代はソサエティ5.0。テレワークが、時代はソサエティ5.0。テレワークを合わさることで建設費用に係る補助金、起債の交付税措置を得られるような方策を検討していきます。

等が進み、人が集まらなくても問題解決できる状況が平常となりつつあります。図書館と言うよりはデジタルラジオ化が遅れているとのお話を網羅した基本構想を初めに作らないと時代遅れの図書館になってしまふのでは。

町長 当然デジタルライブラリーも検討すべき。行政もデジタルガバメント化の推進を考えている。一方その場の雰囲気の楽しみ方もあるので、その辺を上手く合わせたものとなると思う。

財政運営について

質問

公共施設等総合計画の進捗状況は。

町長

令和元年度決算で有形固定資産の減価償却率は48.8%。施設の修繕を計画的に行い、維持管理費を縮減している。

計画には公共施設の更新費用が年間1.6億不足とあるが、どうするのか。

40年間で予想される修繕、維持管理費を均した金額。これを極力下げるのが計画的目的。

公共施設の統廃合は。

直近ではない。

現在の財政計画では実数に近い数値を推計しているので、影響は軽微。

町長 現在の財政計画では実数に

総務運営について

質問

公共施設の統廃合は。

町長

岡本氏のお考えは否定しないが、時代はソサエティ5.0。テレワーク

の乖離は、問題では。

現在の人口と人口ビジョン



大内千嘉夫 議員

「学校教育の管理」について

質問 本年4月に、ALTのコロナ陽性対応で実施しました「児童の心のケア」の状況と効果は。

教育長

「国土強靭地域計画の骨子」について

質問 自然災害の発生を想定しての防災・減災を指針とする「国土強靭化地域計画」策定に向けての骨子は。

町長 計画の基本理念は強靭化を推進するための基本目標と、災害時に對する脆弱性の評価とそのリスクの対応を柱としています。

質問 豪雨で氾濫する恐れのある一級河川上流の「水路の浚渫」は国土強靭化地域計画での考えは。

建設課長 一級河川の修繕が必要と見込まれる場合は、上流の水路を国土強靭化地域計画に網羅します。

質問 暴風雨時に道路脇の枯れ木や枝が倒れた場合、災害時に通行が出来ない。又、電線の切断も考えられます。国土強靭化地域計画への展開は。

建設課長

豪雨時による倒木で通行出来ない。又、電線の切斷については、国土強靭化地域計画の一つの検討課題と考えています。

質問 家庭に、毎日担任が電話で心身の健康状態を確認して、児童と保護者の不安解消に努めた結果、心に不安を抱える児童はなく一定の成果が得られました。

質問 本年は例年夏休みの8月17日から2学期が始まりましたが、熱中症とコロナ感染対策は。

教育長 コロナ感染対策は「衛生管理マニュアル」に基づき実施。熱中症対策は、換気をしながらエアコンの使用と、気温、湿度が高い日は一定の距離を確保してマスクを外す事を指導し、水分補給は自宅から水筒等を持参して、足りない場合は水道の水で補充しています。

質問 学校でのハラスメント対策防止強化で、体制と環境づくり、先生方の相談できる第三者委員会の明確化の対応、又、法律専門の「スクールロイヤー」の活用は。

教育長

現在実施のコンプライアンスチェックシート、ストレスチェックの結果で、各教職員と直接面談を続け、スクールロイヤー対応は必要であれば積極的に取組みます。



直井 陸 議員

「次期総合計画」はどのように策定されるのか？

質問 本年度、町の総合計画「新まご未来計画」が終了し、次期総合計画を策定することとなっていました。現計画の結果を次期計画策定に反映させるため、どのように検証されますか。

町長 每年四半期ごとに行政内部評価を行い、半期ごとに外部評価委員会を開催し、外部委員の意見を踏まえながら適宜見直しを行つてきました。現在は議会からの意見を踏まえ令和元年度の検証を終え、今年度以降の事業の方向性について担当課の意見を集約し、検証結果を踏まえて次期計画の具体的行動を検討します。

質問 町の課題を明確に抽出し、将来性を見越した次期計画の基本方針をどのように講じられますか。

町長

職員によるワーキングチームを結成し、基本的な方向性の検討を始め、各分野の町民の方々をメンバーに加えて策定作業を進めています。計画骨子案では、深刻な課題である人口減少を克服するため、産業

質問 「振興」、「住環境の整備」、「子育て・教育環境の充実」の3つを優先目標として位置付けています。

質問 計画策定では町民の意思を取り入れ、協働を推進することが大切です。どのように意見を集積しますか。

町長 骨子案について意見を募集したところ137件の意見や質問をいたしました。また、昨年度アンケート調査も実施しています。今後は各団体から推薦された委員で構成する検討委員会において検討をするほか、学校区ごとに説明会を開催し、町民皆様の意見を取り入れてまいります。

質問 パブリックコメントは、どのように実施しますか。

総務部長 町ホームページに骨子案を掲載して意見をいただきています。

また、段階的にその都度、意見をいただける体制となつております。

質問 計画の目的である、人口増加へと転ずる「逆転の時代をつくる」ため、何を町民の皆様に望みますか。

町長 行政と町民が共に協力して働く協働体を築きたい。そして、町の普遍の将来像として、町民一人ひとりが幸せを感じられるよう総合計画に継続性を持たせ、逆転の時代を目指すところから始めたい。益子は「いいよ」と言えるような住民を増やして町の推奨意向度を高め、皆様の具体的なアイデアを盛り込んでま

いります。

質問

芳賀青年の家は土砂災害避
町有の宿泊施設も避難所とする。

～7月・8月・9月実施分～

総務産業
常任委員会

6項目

- 防災対策と災害時の感染症対策 (7/30)
- 地域ポイントカード推進による観光振興策 (7/30)
- 公共交通 (8/31)
- 農業振興策における6次化産業 (8/31)
- 観光戦略と益子焼振興事業 (9/29)
- 陳情 (7/30)

● 防災対策と災害時の感染症
対策

災害時避難における新型コロナウイルス感染症対策として、可能な限り多くの避難所の開設、親戚や友人の家等への避難の検討を周知する等の対応が求められている。避難所では避難者の健康状態の確認、衛生環境の確保、十分な換気の実施やスペースの確保等が必要である。

感染症発症が疑われる人の

対応については、保健福祉部局と連携し、適切な対応を事前に検討する必要がある。

【委員会の意見】

災害時の避難所については、密集を避けるため多くの避難所開設が必要とされている観点から自主防災組織を活用した避難所の開設をはじめ共助の強化を推進されたい。

● 地域ポイントカード推進による観光振興策

コロナ禍の中で地域循環型の経済を確立し、小さくても強い経済圏を創ることが有用となる。4月より運用開始したポイントカード「maship」を活用し、観光客をはじめ、町内外消費者を対象に新たな

モデルとして町内循環型経済の構築を図る。また、小学生以上の町民に2000円相当額を付与した地域ポイントカードを交付予定である。

【委員会の意見】

地域ポイントカードの利便性向上を図るために、地域性を取り組みとして、道の駅管理の考査した取り扱い店舗数の加盟推進、行政でも利用可能等の普及促進策を講じられたい。

● 公共交通

デマンドタクシーについて人、延べ利用者数約53人、一日平均利用者数3365人は、昨年度登録者数3365人と年々増加傾向にある。また、令和元年度の運転免許証返納者78人に対して20回分の無料乗車券を交付している。

他自治体への乗り入れについては、経費上の観点からも実現が難しい状況にある。現状の課題として、乗り継ぎの解消、運行経路の改善等が公共交通会議において挙げられている。

【委員会の意見】

デマンドタクシーについても、今後人口の高齢化に伴い需要の増加が見込めることが少

ない状況を鑑み、均一料金の構築を図る。また、小学生以上の町民に2000円相当額を付与した地域ポイントカードを交付予定である。

● 農業振興策における6次化
産業

食品加工6次化へ向けた取り組みとして、道の駅管理の加工施設「たまな」の利用促進、まちカウンパニーによるの普及促進策を講じられたい。

● 農業振興策における6次化
産業

デマンドタクシーについても、今春に陶器市の中止を受けた取り扱い店舗数の加盟店推進、行政でも利用可能等の普及促進策を講じられたい。

【委員会の意見】

まちカウンパニーによる商品の製造等を通して商品開発事業を実施している。

新商品開発費については、民間事業者や農業者が利用できるよう体制の構築、強化を図られたい。また、国・県等の6次化補助、支援策があればパイプ役として推進し、事例として積み上げられるよう図られたい。

【委員会の意見】

デマンドタクシーについても、今後人口の高齢化に伴い需要の増加が見込めることが少

は、レンタサイクル事業、WEB陶器市、ポイントカード運用等を実施し、マーケティングデータ分析等を通して戦略的に外貨獲得の仕組みを創り、外貨を地域経済に循環させる仕組みを創ることをミッションとしている。

今春に陶器市の中止を受けた取り扱い店舗数の加盟店推進、まちカウンパニーによる商品の製造を行っている。一般市民の利用状況は、令和元年度で前年比29件増の199件となつており増加傾向にある。また、新加工施設において一次加工品を含む道の駅まちカウンパニーによる商品開発費については、民間事業者や農業者が利用できるよう体制の構築、強化を図られたい。また、町内ツアーライブの観光商品開発、観光環境の整備拡充を図られたい。

【委員会の意見】

DMO申請に関して、事業計画並びに収支計画案を提示されたい。また、町内ツアーライブの観光商品開発、観光環境の整備拡充を図られたい。

【委員会の意見】

DMO申請に関して、事業計画並びに収支計画案を提示されたい。また、町内ツアーライブの観光商品開発、観光環境の整備拡充を図られたい。

【委員会の意見】

DMO申請に関して、事業計画並びに収支計画案を提示されたい。また、町内ツアーライブの観光商品開発、観光環境の整備拡充を図られたい。

● 観光戦略と益子焼振興事業

一般社団法人格を有するDMO設立に向け、11月に申請予定である。DMOにおいて

は、レンタサイクル事業、WEB陶器市、ポイントカード運用等を実施し、マーケティングデータ分析等を通して戦略的に外貨獲得の仕組みを創り、外貨を地域経済に循環させる仕組みを創ることをミッションとしている。

○特定健診（7/30）

○ゴミの資源化及び減量（7/30）

○フードドライブ事業及びフードバンク事業（7/30）

○学校環境整備（8/31）

○放射能対策（8/31）

○高齢者福祉計画（8/31）

○わが町の教育（9/29）

**教育厚生
常任委員会**

7項目

●学校環境整備

G I G Aスクール構想については、小中学校児童・生徒に1人1台の端末と、全ての学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、新しい学習指導要領で盛り込まれた主体的かつ対話的で深い学びを実現するためのツールとなっている。今年度各小中学校の校内ネットワーク工事を11月末までに、端末購入を1月15日までの予定で現在整備を進めている。

小中学校の空調設備については、昨年度から益子町小中学校空調設備運用指針に基づき使用している。今年度はコロナ対策として、設定温度を26°Cへ変更、2方向の窓を開けて換気を実施、教室の清掃はエアコンをつけたまま10分以内で行うなど、一部変更して運用している。

【委員会の意見】
G I G Aスクール構想においては、指導する教員のスキルが要求される。児童生徒が、自分の考えを文字で表現できるようにするために、教員の十分な研修を徹底されたい。

エアコンの使用については、コロナ対策と合わせながら、

運用指針に基づいて適切な運用を徹底されたい。ただし、異常気象が多発していることから、現状を正確に把握して臨機応変の対応も念頭におき、実施されたい。

エアコンの使用については、コロナ対策と合わせながら、運用指針に基づいて適切な運用を徹底されたい。ただし、異常気象が多発していることから、現状を正確に把握して臨機応変の対応も念頭におき、実施されたい。

●放射能対策

町では町民から申込のあつた食品の放射性物質（セシウム137・セシウム134）の簡易検査を実施しており、検査依頼者の個人情報を除き町ホームページで公表している。

食品中の放射セシウムの基準値（ベクトル／キログラム）は、一般食品100・生乳50・飲料水10・乳幼児食品50となっている。

食品放射性物質簡易検査については、福島原発事故直後の平成24年度には88件の申込みがあり、基準値を超えたものは10件であった。最近の申込み数は平成29年度に8件、30年度に5件、令和元年度に3件であり、そのうち基準値を超えたものは平成30年度の

「ししたけ」2件であった。学校給食についても放射性物質の簡易検査を実施しているが、基準値を超えた事例はない。

学校給食についても放射性物質の簡易検査を実施しているが、基準値を超えた事例はない。

学校給食についても放射性物質の簡易検査を実施しているが、基準値を超えた事例はない。

学校給食についても放射性物質の簡易検査を実施しているが、基準値を超えた事例はない。

平成30年度の簡易検査において、セシウム137が4件、セシウム134が2件検出されており、そのうち2件は基準値を越えていた。簡易検査で基準値を超えた場合には、原因を探求し適切な対応をされたい。

平成30年度の簡易検査において、セシウム137が4件、セシウム134が2件検出されており、そのうち2件は基準値を越えていた。簡易検査で基準値を超えた場合には、原因を探求し適切な対応をされたい。

平成30年度の簡易検査において、セシウム137が4件、セシウム134が2件検出されており、そのうち2件は基準値を越えていた。簡易検査で基準値を超えた場合には、原因を探求し適切な対応をされたい。

●委員会の意見

町民生活の安全・安心のため、食品放射性物質簡易検査等の徹底に努力されたい。

町民生活の安全・安心のため、食品放射性物質簡易検査等の徹底に努力されたい。

町民生活の安全・安心のため、食品放射性物質簡易検査等の徹底に努力されたい。

●委員会の意見

第7期計画での成果や課題を検証し第8期計画に反映されたい。また地域包括ケアシステムの構築が非常に大切でありますから、地域における共通の目標を設定し、関係者で共有されたい。

第7期計画での成果や課題を検証し第8期計画に反映されたい。また地域包括ケアシステムの構築が非常に大切でありますから、地域における共通の目標を設定し、関係者で共有されたい。

第7期計画での成果や課題を検証し第8期計画に反映されたい。また地域包括ケアシステムの構築が非常に大切でありますから、地域における共通の目標を設定し、関係者で共有されたい。

化⑤認知症施策推進大綱等を踏まえた認知症施策の推進

⑥地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び業務効率化の取組の強化の6項目が

国案として示されており、これらを計画に盛り込む予定となる。

●委員会の意見

第8期高齢者福祉計画について、令和3年度から5年度までの3年間の計画となり、第8期計画の基本的な指針として①2025年・2040年を見据えたサービス基盤、人材基盤の整備②地域共生社会の実現③介護予防・健康づくり施策の充実・推進④有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅に係る都道府県・市町村間の情報連携の強化



町民の声

中野 修さん



伝統文化に支えられた地域
づくりと日枝神社再建三百年
を迎えて

昭和 22 年（1947 年）生
団塊世代一期生の 72 歳
益子町大沢生まれ・七井育ち
趣味：スポーツ観戦、
音楽鑑賞、晩酌

貴重な彫刻も残つております。
平成四年益子町指定有形文
化財に指定されました。

しかし、本殿は老朽化の上、
東日本大震災で被害を受け修
理が必要な状態でした。

本年、本殿再建三百年の記
念事業として修復しました。

なお、修復工事中に享保四
年（一七一九年）の棟札が見
つかり、江戸時代中期に建築
されたことが確認できました。

本年、日枝神社が「ましこ
一体感を一層深める融和のシ
ンボルと位置づけました。
これを機に、日枝神社本殿

世間遺産」に認定されました。
今後、御朱印頒布等を実施
し、文化を伝承するとともに
心豊かな住みよい地域づくり
に貢献したいと思っています。

本殿は奈良時代に旧七井の
郷に創建され、再建三〇〇年
になることが分かりました。

昭和三十年頃まで氏子達は
太々神樂、子ども相撲などを
奉納し地域の安寧を祈願して
きました。現在も十一自治会

ミレニアム目前の一九九九年、両親の介護のため会社を早期退職し帰つてきました。急速な社会変化に伴つて地域も大きく変化し、人間関係さえ都会化したように感じました。陶淵明の「帰りなんざ田園将に荒れなんとす」の心境になりました。

特に、地域の絆や一体感は希薄となり「将に荒れなんとす」という思いでした。その後、地域の人や同級生との交流でやっと地域の一員になつたと感じ始めた時、神社氏子総代を命じられました。最初は夏祭りの改革でした。寛政十年（一七九八年）に制作された神輿が老朽化し修復不可能のため新調しました。

在どのよう公開するか検討しております。また、本殿は茅葺き屋根の建物で、その周囲には江戸時代中期の花鳥の



日枝神社ご神体正遷宮祭事・修復工事完了祭

あなたも議会を傍聴しませんか

次回**12月1日(火)**
開催予定

本会議当日、3F議会事務局で傍聴証を交付します。予約不要。

また、役場1階ホールのモニターで議場の様子を放映しています。



DVD 貸出を始めます

令和2年9月定例会から一般質問の映像の部分をDVD化し、中央公民館図書室で貸出することになりました。
ぜひご利用ください。

広報広聴
常任委員会

「町民の声」あなたの声を！

町民の声を募集いたします。13文字×60行の中に、あなたが普段考えていること、行政に伝えたいことを書いてください。顔写真、プロフィールもお忘れなく！

郵送または議会事務局（下記のTEL）までご連絡ください。
住所、氏名、電話、メールアドレスをお願いいたします。